

私なりの「楽しいタグラグビー」の考え方

1 タグラグビーは、だれもが楽しいことが条件である。

そのためには

- その1 子どもの環境を知った上でタグラグビーをさせる。
- その2 興味・関心を持つような身近な話からタグラグビーを意識させる。
- その3 みんなが主人公になるようにタグを使った遊びをたくさんさせる。
- その4 どんな小さなことでも周りに聞こえるように誉めてあげる。
- その5 最後は「楽しかったね。」と問い、「またやりたい。」気持ちを継続させる。

2 タグラグビーは、楽しみながらうまくなることが条件である。

そのためには

- その1 目標を持たせ、評価・改善・工夫を適宜行わせる。
- その2 「スペース」のことを意識させる。
- その3 「タイミング」のことを意識させる。
- その4 「チームワーク」のことを意識させる。
- その5 「良いところ・悪いところ」意識して見るようにさせる。

3 タグラグビーは、子どもだけでできることが条件である。

そのためには

- その1 最初、ビデオや絵を使ってタグラグビーとは何かを教えてあげること。
- その2 簡単に遊び感覚できるルールを発達段階に応じて与えること。
- その3 タグセット・ボール・マーカーは自由に使えるようにしておくこと。
- その4 子どもだけでする前に危険な行為を必ず指導すること。
- その5 遠くから見ていて、終わってから誉めてあげること。

4 基本的な指導プロセス

1 ボールに慣れる。 ボール体回し ボールリレー ボール集め（一人・ペア・パス） ボールタッチ	2 タグに慣れる。 1対1タグとり 1対1正面タグとり ゲーチョキパータグとり 移動タグとり
3 コートに慣れる。（進む方向に慣れる。） タグとり合戦 通り抜けフラフープ（一人・ペア） 通り抜けスペース（全員ボール） 通り抜け	4 パスの連続に慣れる。（ボール運動として） 通り抜けスペース（ボール数個） 通り抜け（ボール2個） 三角じゃんけん（3対2） タグラグビー